盛岡YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

YMCANews





Fax 019-623-1579



世界標準の視点に立った地域との連携を目指して

SUSTAINABLE **GOALS**



盛岡YMCAに集う関係者の皆様、新年あけましておめでと うございます。本年も皆様にとって良い年となるようお祈り申し 上げます。

さて、盛岡YMCAのメンバーらは、昨年後半からSDGs(エ スディージイズ) についての学びを始めています。SDGsとは「 Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」 の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された もので、国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達 成するために掲げた目標です。骨格となる17の目標の中には バランスの取れた経済成長や自然環境保護、多様性や人権 の重視、働き方の問題など、人類が歴史の蓄積の中で勝ち取 ってきた普遍的な価値が世界中で共有されるべきものとして 掲げられています。既に、各国政府や企業も施策や経営戦略 に取り入れています。私たちは、地方で活動する小さなNPO団 体に過ぎず、もちろん、こうした壮大な目標すべてに取り組む ことはできません。

しかし、盛岡YMCAは、すべての子どもが社会から取りこぼ されるなく、かけがえのない一人として尊重される社会を目 指して育成に当たってきました。地味な部分ではあっても、 SDGsの最も根幹部分の一翼を担ってきたものと自負してい ます。私たちの地域には、私たちがカバーしきれないSDGsの 目標領域で、工夫や努力を重ねている他のNPO団体や企業、 自治体も少なくないことと思います。

今後は、そうした他団体とも積極的な 情報共有を図り、協働しつつ、地域に貢 献していきたいと考えています。

本年も、皆様のご支援をお願いします。





盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。
1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

国際協力街頭募金





2018年11月23日、盛岡市の大通りを中心に、国際協力街 頭募金を行いました。今年もプログラムメンバー、社会人リー ダー、大学生ボランティアリーダー、高校生、ワイズメンズクラブ スタッフ等YMCAに様々な形で関わる方々が集まり、総勢63 名の参加者。その内、高校生以下が40名と、活気に溢れたメンバーで募金活動を行いました。

その活気そのままに、街頭に立ち募金への協力をお願いしたり、本部で温かい昼食を作り活動を支えてくれたりと、参加者一人ひとりが他者のために力を注いでいました。

今回の募金で集まった額は184,047円となり、いただいた募金の益金は、日本YMCA同盟を通して、

- 1 カンボジアYMCA 子ども支援
- 2 ネパール地震被災地支援
- 3 東エルサレムYMCA パレスチナ難民支援

等のために使われます。募金活動当日は、今季最大級に冷え 込むとされた日でした。そのような中、足を止め、募金をしてく ださった方々に、心より感謝致します。 誰かのために頑張る私たちも、誰かの支えがあって初めて 頑張れる事が出来ています。一人ひとりが誰かに支えられて いると同時に誰かの支えになっている事を、一人でも多くの 方が感じてもらえたら幸いです。

街頭募金は終了しましたが、国際協力募金は3月末まで行っていきます。引き続き、皆様のご理解と温かいご支援を、何とぞ官しくお願いいたします。

国際協力担当 小川嘉文





スマイルスキーキャンプ報告





こんにちは!ボランティアリーダーのチーズです。今回は、スマイルスキーキャンプについて報告させていただきます。スマイルスキーキャンプは、初めてスキーをする子どもたちを中心にしたキャンプで、12月15日(土) \sim 16日(日)01 $\dot{1}$ 2日で行われました。

今回は、参加は11人でいつもより人数が少ないキャンプとなりましたが、人数が多い少ないではなく、これまでのキャンプに比べ、子どもたちの笑顔がたくさん感じられたキャンプとなりました。行きのバスの中では、つよぽんリーダーのいじわるクイズに頭を抱えたり、歌を歌ったりと盛り上がり、あっという間にスキー場へ到着!いよいよスキーの始まりです。

重いスキー板を抱え、履き慣れないスキーブーツで歩きながら、なんとかゲレンデに到着です。にぼしリーダーの美声に合わせて元気よく体操。そのあとはスキーグループに分かれ、それぞれスキーを楽しみました。子どもたちの内の一人はスキーから戻ってくると、リーダーから「上手だねって言われたよ!」と嬉しそうに伝えに来てくれました。ナイトプログラムは、みんみんリーダーの掛け声のもと、グループ対抗ゲーム大会が始まりました。子どもたちは、たくさん騒ぎ満足している姿が見られました。2日目も、スキーを一日中堪能し、滑りまくった2日間でした。2日間を通して、「スキーが出来るようになった!」とい

う声を、たくさん聞くことが出来たことはも ちろんですが、何よりその笑顔を見ることが 出来たことが本当にうれしかったです。

2018年盛岡YMCAウィンターキャンプー 発目にふさわしい、笑顔あふれるキャンプと なりました。

盛岡大学4年 小野寺保乃香(チーズリーダー)



▲ ナイトプログラムの様子



ユースボランティアフォーラム報告





こんにちは!つくしです。今回、第31回ユースボランティアフォーラムに参加し、「今、ユース・ボランティア・リーダーに求められるもの」について、他のYMCAのユースボランティアリーダーと共に考えてきました。

「人の振り見て我が振り直せ」ということわざがある通りに、他の YMCAの活動やリーダーの姿を見たり、講演会や話し合いを通し て、盛岡YMCAや自分の現状や将来について、深く考えることが出 来ました。

私のグループには、子どもの頃からメンバーとしてYMCAに関わっていて、大学生になりリーダーとなった1年生がいました。リーダー1年目とは思えないほど、自身に満ち溢れ堂々としている姿に、私はすごいと思うと同時に、少し悔しさを感じました。

しかし話を聞いてみると、子どもとの関わり方の中で、私と同じような悩みを抱えていることを知り、どこのYMCAでも悩むこと、考えること、大事にしていることは変わらないことに気が付きました。

たくさんのリーダーと、悩みや自分たちの居場所であるYMCA のこれからについて考えることで、自分や今を見つめ直すいい機会になりました。長い歴史があるYMCAだからこそ、枠にとらわれすぎず、柔軟な発想で活動に取り組んでいくことが大切だということにも気が付きました。

盛岡のYMCAはまだまだ大きくはありませんが、その中でも人と人との関りを大切にし、共に成長するという貴重な機会を提供できるYMCAであることは、誇りに思えることだと自信に繋がりました。今回得た自信や発見を盛岡のリーダーや活動、盛岡YMCA全体に還元できるように、精一杯活動に取り組んでいきたいと思います。

岩手大学2年 鈴木凜奈(つくしリーダー)





全国YMCAリーダー研修会報告

こんにちは!YMCAニュース初登場のラフです!私は、10月6日から8日にかけ行われた、全国YMCAリーダー研修会に参加してきました。全国各地の仲間たちと様々な話ができ、とても充実した時間となりました。

この研修会で、私が得たものは大きく2つあります。今回は、そのうちの1つについて、書いていきたいと思います。

私は、2年生になってから、ある悩みを抱えていました。それは、自分と盛岡YMCA、どちらを優先させるかという悩みです。「自分としては、今の活動量で満足している」「でも、盛岡YMCAのことを考えたら、もっと色々な活動に行くべきでは」「子どもに、自分のことだけではなく、みんなのことを考えてと声をかけるけれど、自分はそれができているのか」などなど…。このような葛藤を私は抱えていました。この悩みを研修会でぶつけてみたところ、「自分の成長と全体の成長って一緒に出来ないの?」という答えが返ってきました。

この言葉を聞いて、私は自分の悩みが二者択一でないことに気づきました。自分が行く活動だけでも、意識すれば全体へ何かを還元することは可能だということです。私は今、盛岡YMCA内での繋がりを意識して、行動しています。

仲間たちと手を取り、繋がっていれば、私が一歩成長した時に、 みんなも一緒に引っ張ることが出来ます。逆に、私が手を引いても らって成長する場合もあるでしょう。まさに「みつかる・つながる・よく

なっていく」です。この気づきが私の学びです。 これからは、たくさんの人と手を取り合って、 一緒に笑って泣いて、失敗して成功して、成長 していこうと思います。

> 岩手大学2年 笹川大地(ラフリーダー)



YMCA大会報告





私は、11月23日~25日に行われた、日本YMCA大会に参加してきました。「すべてのYがつながる日」と題し、ユース世代だけでなくいつもは話す機会が少ないシニア世代とも、グループワークやテーマ別でのセッションを通し、多くの人と繋がることが出来た3日間でした。私は、盛岡以外のYMCAについて意識したことが少なく、他のYMCAがどこにあって、いくつあるのかですら、知らない状況でした。また、盛岡と他のYMCAとでは、別物であると思っていました。

しかし、グループワークやテーマ別のセッションでは、盛岡で話すのと同じように、自分の言いたいことが言え、朝の集いや夜の懇親会、キャンプファイヤーでは、活動を何度も共にしたリーダーのように、心の底から楽しむことが出来ました。初めて会った人たちにも、本当の自分を出せるというのは、簡単なことではないと思いますが、YMCAを通すことで出来るというのは、YMCAの良さであり、強みではないかと改めて感じました。

私は、YMCAの活動に足が進まず、少し悩んでいた時期がありました。自分が何に悩み、どうして足が進まないのかですら分からない状況でした。こんなことは、今までで初めてでした。そんな時にこのYMCA大会があり、自分が何に悩みどうして悩んでいたのか、少しだけわかったような気がしました。

年齢や経験、立場の違いで感じた驚きや発見、自分の思いや経験の浅さを感じたことよりも、自分がどうして悩んでいたのかが分

かったことが、個人的には一番の収穫だったと思っています。このYMCA大会で感じたことを、盛岡のリーダーたちに伝えるまでがYMCA大会だと思うので、みんなにしっかりと伝えていきます。

岩手大学2年 前田隼輔(ガルベスリーダー)



ポジティブネット③



つぎの私が待ち遠しい。

腕時計で有名なシチズンのコピーである。全米オープンテニスで 優勝した大坂なおみ選手の写真とともに、下の文章が昨年9月新 聞広告に掲載された。

時間はいつも未来に向かう、 いま、この瞬間を力いっぱい生きることが、 あたらしい自分をつくってゆく。 1秒を積み重ねるように、一歩ずつ。 つぎの私が待ち遠しい。

偉大なことを成し遂げた大坂選手に対してさらなる飛躍の可能 性を感じさせるぴったりの表現だと思う。

しかし、彼女ほどではないにしても、平凡な日常を繰り返してい る僕たちの生活の中にも些細なチャレンジは隠されているはずだ。

ズボラで自分勝手な僕を例にすると、机の周りを整頓したり、電 気を小まめに消したり、相手のことを批判する前にその人の置かれ た状況を充分に考えるようにしてみたりなど、数えきれない多くの チャレンジがある。

その全てを克服することはできないが、その中で一番簡単なひ とつでも克服してみるとほんの少し自信が湧いてくる。そして昨日 の自分よりちょっぴり良くなった自分を見つめると、明日以降の私 がどんなふうになって行くかが楽しみになって来るはずだ。それは 10代、20代はもちろん80代になっても、90代になっても変わらない ことのように思える。こうした名もない市民、一人ひとりの小さな勝 利の積み重ねが公正で平和な社会を作っていくんだ!!

愛する者たち、わたしたちは、今既に神の子ですが、自分がどのよ うになるかは、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、 御子に似た者となるということを知っています。なぜなら、そのと き御子をありのままに見るからです。

文化の違いがある中、子どもとリーダーたちは、自分を仲間とし

て受け入れてくれ、感動に満ちている。YMCAと出会う前までは、

自分さえ良ければ全て良いという自己中心的な考えだった。しかし

新約聖書 ヨハネの手紙13章2節

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

日本でメンボーも考えた(5)



自分は、毎年のキャンプをすごく楽しくしているが、子どもたちの 流行りについていけず、子どもたちに何を話しかけたらいいのか、 さっぱり分からない。最近では、何人かの子どもに対し自分一人で グループを持つが、大学1年生の時、初めてのキャンプで先輩リー ダーがいてくれたお陰で、すごく心強かったことを思い出す。

去年のサマーキャンプ、一人でグループの子の面倒を見たり、お 世話をしたりすることは初めての経験で、正直たくさんの不安を抱 えた。育ってきた環境の違いもあり、子どもたちと共通の話題を作 ることが出来なかった事が、印象に残っており、面倒を見るだけで はどこか物足りなさを感じた。

また、周りのリーダーと見比べてみると、リーダーと呼ばれる資格 があるのかと悩み、キャンプ終わりに一人でよく反省した。しかし、 キャンプはいつも魅力的で、子どもたちと自然を満喫できる場所づ くりの他、他人のために行動することや、思いやりの心を養うことが 大切だということを、子どもとリーダーから教わることが出来たこと は、自分にとって大きな収穫となった。

今では、話をするときや行動を起こす時には、他の人の気持ちを第 一優先に出来るようになってきた。 ふと考えてみると、自分は、考え方や行動が「日本化」されていく 外国人なのかもしれない。 (予告)次はYMCAとの関わり以外の驚いた事情について話した



いと思いますので、お楽しみに!

(写真)初めての宮古キャンプ前日にボ ランティアセンターに宿泊してはまちゃ んに連れていってもらった浄土ヶ浜の 一番お気に入りの日の出。

> 岩手大学3年 オンホーイン (メンボーリーダー)

紙 の 真 か

感謝

(2018年度12月28日現在)

3 学べての人に -M/÷ 昨年12月、内丸教会で開催されたスバルクラスの 様子。老若男女、時を忘れてリーダーが企画した ゲームに熱中し、心のそこから笑っている様子が 印象的でした。

武田理惠子、

魚住英昭、秋永光里、杉田深雪

今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、高橋友恵、熊谷力實 藤信彦、中原真澄、角谷晋次、潮田祐、晴山浩輔、斉藤優太、藤原祐三、尾張幸久、小守林

修三、宮崎幸雄、浅沼慧、浅沼美希、大塚英彦、晴山浩輔、尾張幸久、小守林靖一、東森聡 濱塚真美、髙橋奈菜、押切梓、齋藤之彦、南原良哉、小林茂元、伊藤眞 ユ子、古澤伸、武田理惠子、鵜丹谷三千代、髙橋廉翔、人見晃弘、菊地弘生、重石桂司、高 藤翔、中村圭二 瀬稔彦、千田汐里、工藤悦子、家村知佳、滝川佐波子、小笠原邦夫、遠藤昌樹、清水治彦 ·藤誠太、佐藤洋一、中島敬泰、小野寺大介、魚住恵、 · 今野聖子、今野健男、林辰也、森山日菜乃、森山幹大、佐藤隼人、 、小山憲彦、角谷晋次、水野暢夫、澤田鉄平、 郎 伊藤信彦、 、神田橋慧一、山口貴伸、濱塚有史 、井上浩太郎、井上優子、井上

郎

代伊藤みどり、

熊谷大樹、工藤直子、今松桂子、熊谷太、吉﨑陽、水田賢次、大関靖二、阿部深雪、光永尚 、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、名古屋恒彦、名古屋理恵、植田 熊谷力實、尾形裕 田村治之、川坂保宏、澤田優実、 一戸貞文、髙橋友

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡 YMCA」で検索ください。

ホームページ **》**: https://www.moriokaymca.org/

facebook f: https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/